



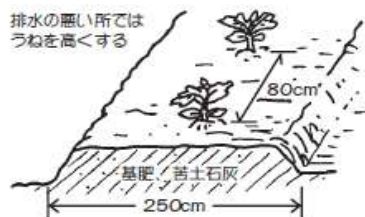
スイカ

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
普通栽培			●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

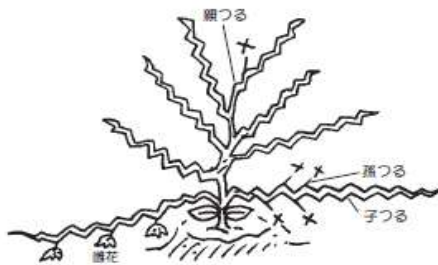
●種まき ○植えつけ ※収穫

畑の準備・植えつけ

排水の悪い所では
うねを高くする



整枝



着果節までの落つるは除去しておく
3~4番花に着果させる
子つるは左右に振り分ける
つるを鉢元へ引き戻し草勢を調節する

育て方のポイント

①畑の準備

- 排水の悪い所ではうねを高くしておく
- 植えつけの2週間前に基肥と石灰を施し、よく耕うんする
- 地温を上げるため、植えつけ前にマルチをしておく(目安は地温15℃以上)
- 株間は80cmを目安にする

②植えつけ

- 本葉4~5枚の苗を植えつけ、十分に灌水する

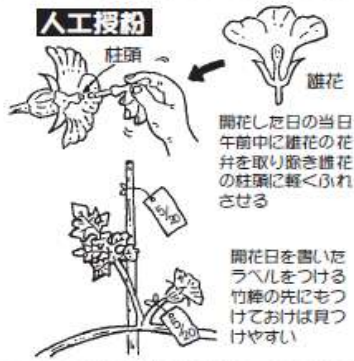
③管理

- 親づるの摘心は本葉9~10枚で行う、子づるは8本仕立てとする
- 着果節までの落つるは除去しておく(但し、着果節以後の葉は果実の品質に影響するので残しておく)
- 人工交配を行う場合は、開花した日の当日午前中に行う
- 着果は1株に4個を基準とし、3~4番花に着果させる

④収穫

- 開花から40日後を目安に収穫する(小玉は35日前後)
- 適熟収穫をするために、日付けを標示しておく(よい)

人工授粉



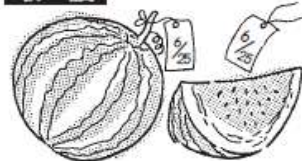
開花した日の当日午前中に雄花の花弁を取り除き雌花の柱頭に軽くふれさせる

開花日を書いたラベルをつける竹箒の先にもつけておけば見つけやすい



ホットキャップは頂部に穴をあけて換気する
保温のために、ホットキャップを掛けるとよい

収穫



開花後40日後を目安に収穫する
試し採りして食べてみるとよい

ワンポイント

- 土壌病害の回避と低温時の生育をよくするには、排水苗を使用するとよい
- 基肥が多いと着果不良を起こすので注意する

施肥例(1㎡あたり)

肥料・堆肥	基肥	追肥		備考
		①	②	
厩土有機化成特A801	100g	50g	40g	
厩土石灰	100g			
コンポストエース	(2kg以上)			

※1回目の追肥は着果を確認してからうねの周囲に施す
※2回目の追肥は果実がソフトボール大になった頃に施す